

令和 6年度

事務事業評価表 ( 令和 5年度 の実績評価)

記入年月日  
令和 6 年 4 月 1 日

事務事業名		防災行政無線事業				事業区分		担当	
						新規/継続	継続	事務事業No.	030103000685
						単独/補助	単独	所属課	020801
政策体系		政策体系上の位置付け						課長名	防災課
総合計画の施策名		0301 消防・防災対策の充実						担当者名	
政策名		03 安全安心な暮らしのまちづくり							
施策名		01 消防・防災対策の充実							
手段名		03 ③消防防災拠点の確立							
		財務会計上の位置付け				事業期間			
予算科目		会計	款	項	目	事業	細	一般会計	
		01	09	01	04	02	00	防災無線事業	
						単年度繰返し (平成18年度~)		期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入	
法令根拠		災害対策基本法、桜川市防災無線局管理運用規程、桜川市防災行政無線戸別受信機貸与規程							

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要 (事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
市内で災害が発生した場合に、必要な情報の提供及び避難指示を放送する。平常時は、各課で実施する各種事業について、住民に周知すべきであり、緊急性が高い事項を放送している。また、保守点検を含む管理業務を行っている。	平常時は、各課から依頼があった各種事業についての情報を放送している。放送の聞こえ方についての苦情を市民から受けたときは、その都度音量等の調整に当たっている。さらに、保守管理委託契約事務、NTT回線使用料及びパンザマスト電気料支払い事務を行っている。

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移							
①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	04年度 (実績)	05年度 (実績)	06年度 (計画)	07年度 (目標)	08年度 (目標)
防災無線機器を操作し、市民に対して適宜情報を伝達する。不具合が生じた場合、委託業者に修理を依頼する。	放送回数	回	283.00	129.00	150.00	150.00	150.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	04年度 (実績)	05年度 (実績)	06年度 (計画)	07年度 (目標)	08年度 (目標)
市民	桜川市人口	人	37,653.00	36,794.00	36,647.00	36,500.00	35,897.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	04年度 (実績)	05年度 (実績)	06年度 (計画)	07年度 (目標)	08年度 (目標)
市民へ情報を伝達する。	苦情処理件数	回	19.00	14.00	10.00	10.00	10.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移		04年度 (実績)	05年度 (実績)	06年度 (計画)	07年度 (目標)	08年度 (目標)	期間限定総投入量
投入量	事業費内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	
		県支出金	千円	0	0	0	
		地方債	千円	0	0	0	
		使用料・手数料	千円	0	0	0	
		その他	千円	0	0	0	
		一般財源	千円	17,183	11,506	24,304	
		事業費計 (A)	千円	17,183	11,506	24,304	
	正規職員従事人数	人	3.00人	3.00人	3.00人		

05年度事業費 実績 (千円)			06年度事業費 予算 (千円)		
10 需用費	620		10 需用費	744	
11 役務費	1,729		11 役務費	2,040	
12 委託料	7,502		12 委託料	7,537	
13 使用料及び賃借料	150		13 使用料及び賃借料	151	
14 工事請負費	1,474		14 工事請負費	13,801	
18 負担金補助及び交付金	31		18 負担金補助及び交付金	31	
合計			合計		
11,506			24,304		

(4) 当該年度の実施内容	06年度の事業内容	07年度の事業内容	08年度の事業内容
※年度ごとに事業内容を記入する	防災無線パンザマスト電気料、電話回線使用料、敷地借上料、電波利用料の支払い、保守点検委託業務、デジタル戸別受信機設置・拡声子局バッテリー交換工事、岩瀬庁舎再送信子局、長岡地区子局の移設工事	防災無線パンザマスト電気料、電話回線使用料、敷地借上料、電波利用料の支払い、保守点検委託業務、デジタル戸別受信機設置・拡声子局バッテリー交換工事	防災無線パンザマスト電気料、電話回線使用料、敷地借上料、電波利用料の支払い、保守点検委託業務、デジタル戸別受信機設置、パンザマスト更新の検討

事務事業名	防災行政無線事業	事務事業No.	30103000685	所属課	防災課
(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？					
災害が発生した場合の情報伝達手段として、合併前の岩瀬町、真壁町、大和村で防災行政無線が整備された。2町1村の防災行政無線の運用及び管理業務を引き継いだものである。なお、平成25年度から27年度にかけてデジタル化整備工事を実施している。近年、災害時の情報伝達手段について注目が集まっている。					
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？					
地域及び地形や周辺環境により聞こえ方に差があり、「聞こえない」、「音量が適当でない」という意見や内容確認の電話などが寄せられている。					

【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

評価項目	
改革改善を行う	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 防災無線は行政情報や災害時の情報伝達手段の一つなので結びついている。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称)
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 防災無線は市民に満遍なく情報を伝達する媒体なので、これを整備することは妥当である。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 防災無線は双方向性や詳細な情報の伝達、情報を伝える対象の限定等において機能的限界があるので、他の情報伝達手段との兼ね合いを考慮することで、より効率的な運用が可能である。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？)
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有 防災無線は即時性が高く、不特定多数に対し広範囲に呼びかける媒体として有効なので、これを廃止すると情報伝達に大きな滞りを生むことになる。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合)
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない システムと独立しており、連携は難しいが、市が有する他の情報伝達手段との兼ね合いを考える必要がある。
	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 防災行政無線の保守点検委託料以外は電気料や電話回線使用料などの必要経費であり、削減余地がない。保守点検委託料についても必要最小限の点検回数のため削減余地がない。
	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である すべての市民の安全、安心に寄与するものであり、特定の受益者はいない。市民の安全、安心の確保のための事業であり、市が費用を負担するのは妥当である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括（振り返り、反省点）																											
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	適宜、機器の調整をして対応している。また、内容が聞き取りにくい等の連絡に対しては、電話録音による放送内容確認サービスを案内している。																											
②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																												
③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																												
④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																												
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果																											
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 現状維持		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																											
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th rowspan="2">向上</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">維持</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		成果	向上	コスト			削減	維持	増加	維持			○						低下								
成果	向上	コスト																											
		削減	維持	増加																									
維持			○																										
低下																													
防災無線放送の難聴地域や土砂災害（特別）警戒区域、さらに今後拡大していくことが想定される洪水浸水想定区域に対応するために、戸別受信機貸与の考え方を見直す必要がある。また、防災行政無線以外の情報伝達手段の充実に向け、検討していく必要がある。		(6) 事務事業優先度評価結果																											
		成果優先度評価結果 <input type="checkbox"/> ①																											

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A: 継続 (現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続 (改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>